

## 米子駅周辺活性化専門家委員会の検討結果について

### 検討の状況

#### ・委員会開催日

第1回委員会	平成30年 6月 8日 (金)
第2回委員会	平成30年 8月29日 (水)
第3回委員会	平成30年11月27日 (火)
第4回委員会	平成31年 2月14日 (木)

#### ・検討の概要

米子駅南北自由通路等整備事業を契機とした、米子駅周辺の賑わい創出、活性化に向けて、現状課題や、必要となる方策等について、様々な意見をいただいております、主な意見を次ページ以降にとりまとめた。

なお、本委員会は座長等を設けず、各委員から自由に意見をいただいております、委員会としての意見（答申など）は、いただかないこととしている。

## 各委員からいただいた主な意見

### (1) 駅北、駅南広場の整備（だれもが安全に、安心して利用できる交通結節点の整備）

	主な意見	検討課題
①	現状の米子駅、駅北広場、だんだん広場の人の動線が良くない。(JR指令ビルでグルメプラザは死角になっており、駅からは目的地が見えない動線となっている。)	
②	だんだん広場の機能を駅正面に持ってくるような大きなゾーニング変更が可能であれば、機能の向上が図れるのではないかと。(機能の配置転換)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能の配置転換により、交通広場（交通ロータリー）を再配置する場合、だんだん広場は鳥取県が所有する都市公園であり、今後の活用にあたり、都市公園の取扱いなど、鳥取県との調整が必要。</li> <li>交通ロータリーへの進入路変更をする場合、新たな渋滞等の発生による利便性低下を招かないよう、実態調査や関係機関との協議が必要。</li> <li>進入路の位置によっては、地下駐車場の進入路変更が必要。(現在実施している、地下駐車場平面化工事には影響はない。)</li> </ul>
③	駅正面が、タクシー・一般車乗降場では、市の玄関口としては寂しい。歩行者空間があり、緑もあればなお良い。	
④	広場機能が駅の正面にあることは、米子駅の強みになると思う。	
⑤	広場機能が駅正面に来ることに伴い、交通ロータリーの位置が変わるのであれば、費用もかかり、使い勝手も変わるので、市民の意見を伺いながら検討する必要がある。	
⑥	グルメプラザのところに複合施設を検討するというのであれば、(現在は都市公園であるが)目の前に駐車場があることが必要である。	
⑦	駅前の交差点について、地下を通る人はほとんどいない。インバウンドなど大きな荷物を持った人の利便性を考えた動線の検討が必要。(地上部の横断歩道は必要)	
⑧	駅正面を歩行者空間とするなら、現在あるモニュメントは撤去した方が機能的には良いかもしれない。	
⑨	駅北広場と駅南広場の機能分担をしっかりとしないと、機能が重複し、有効な広場活用となくなるので、注意が必要。	
⑩	駅南広場を整理するのであれば、一般車の駐車にあたり、駅北は地下駐車場、駅南は、平面駐車場と機能を分ければ、駅北広場の平面部の交通錯綜も解消するのではないかと。	
⑪	広場だけではなく、周辺も含めたデザインのコンセプトが大変重要になる。整備の予想図が示されると市民も分かりやすく、使い方の想像がしやすくなると思う。	
⑫	観光情報などの情報発信施設は、だんだん広場のエリアより、駅正面の歩行者空間に設置する方が、高い効果が得られると思う。	

(2) 民間との連携による滞留機能の強化（集まった人が気軽に、楽しく過ごせる空間の創出）

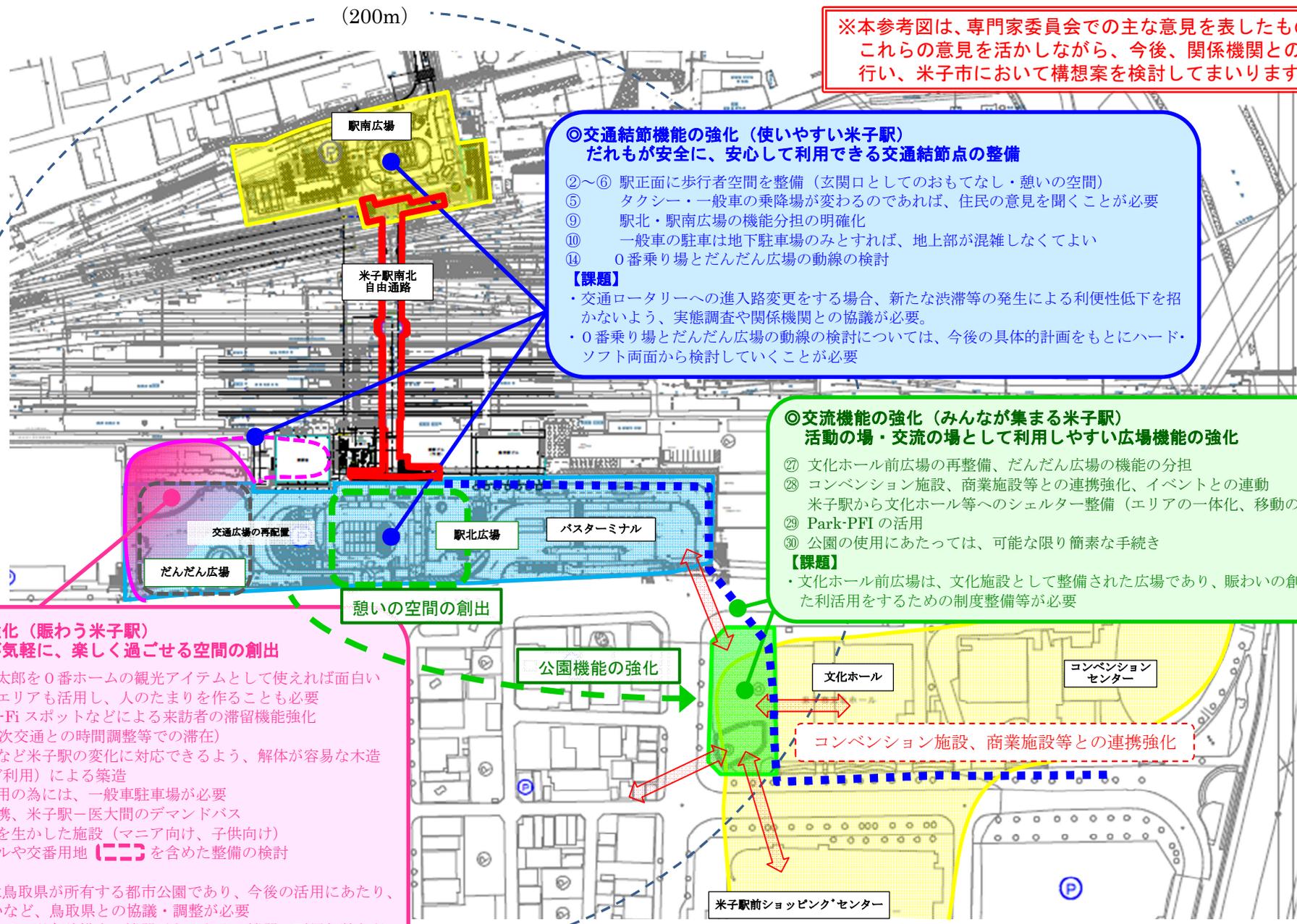
	主な意見	検討課題
⑬	交通の要衝である米子は鉄道の街として発展してきたので、交通・鉄道がイメージ出来るようなものにしていかなければならない。	
⑭	今後、インバウンドのことを考えると境線がますます重要になってくると思うので、無人改札など、境線の0番ホームを活用しない手はないと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子駅の0番乗場やイラスト列車など境線の観光路線化については、米子市・境港市・JRで協力して取り組んでいる。</li> <li>・更なる施策展開については、今後の具体的計画をもとにハード・ソフト両面から検討していくことが必要</li> </ul>
⑮	ゲゲゲの鬼太郎を0番ホームの観光アイテムとして使えば面白い。	
⑯	商業施設は、グルメプラザや広場の郵便局側のエリアに設け、人のたまりができるようすれば、賑わいが生まれ、人の流れもできるのではないかと。	
⑰	だんだん広場の法的規制が解消されれば、場所は一等地であり、民間事業者が投資をする価値のある場所だと思う。	
⑱	商業施設や広場のイベントでは、搬入トラックや一般客の駐車スペースを設けなければ人が集まらない。	
⑲	人の滞留を考えた場合、最近要望の多いのがパソコンを利用できるカフェであるが、最近の駅前では、営業効率が悪いいため減ってきている。	
⑳	将来の新幹線の誘致等、米子駅の変化に対応できるよう、民間との連携による商業施設は、将来解体も容易な施設、例えば、県産材を使った木造の建造物が良いと思う。	
㉑	地方の交通事業を考えると、商業施設には、駐車場は絶対必要。	
㉒	米子駅周辺の人々の滞留・賑わいのためには、鉄道のまちを活かした鉄道マニア向けの施設や鳥取大学医学部附属病院との連携や病院駅間のデマンドバスなどの機能が有効。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取大学医学部附属病院との連携については、ニーズを踏まえた、病院側との協議が必要。</li> </ul>
㉓	鉄道のまちを活かしながら地域の子供が一度は行きたくなる施設（鉄道博物館など）の整備も良い。	
㉔	JRの指令ビルが撤去可能であれば、グルメプラザも含めたゆったりとしたスペースができると思う。将来的に撤去されるのであれば、そこも含めて検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR指令ビルには、現在稼働中の機器があるため、機器の耐用年数など、JR西日本との協議、調整が必要。</li> </ul>
㉕	民間事業者は、利用できる面積（JR指令ビルの利用の可能性も含め）や駅ビルの中身など、条件・環境が決まらなないと動けない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併せて、指令ビルに隣接する交番についても、鳥取県などの関係機関と調整が必要。</li> </ul>
㉖	米子駅の場合、現状、二次交通全般のダイヤの関係で待合の時間が多いので、そこを吸収するための機能が求められると思う。	

### (3) 市民活動拠点の整備（活動の場・交流の場として利用しやすい広場機能の強化）

	主な意見	検討課題
⑳	だんだん広場については、文化ホールの前にも雰囲気の良いスペースがあるので、機能分担してはどうかと思う。	・文化施設として整備された広場であり、賑わいの創出に向けた利活用をするための制度整備等が必要。
㉑	コンベンションセンターや文化ホールとの連動・一体感が必要。例えば雨の日にも濡れないシェルター整備なども検討した方が良い。	
㉒	規制緩和により、公園内に一部の商業施設の設置が可能となった。そこの収益を公園の維持管理にまわし、公費を削減している自治体もある。(park-PFI)	
㉓	広場を利用する上で、出来る限り簡素化された利用手続きが、利用の促進には必要である。	・都市公園として管理をするのであれば、利用に制限が加わるため、様々な管理手法の検討が必要。

# 各委員からいただいた主な意見（参考図）

※本参考図は、専門家委員会での主な意見を表したものです。これらの意見を活かしながら、今後、関係機関との調整を行い、米子市において構想案を検討してまいります。



**◎交通結節機能の強化（使いやすい米子駅）**  
 だれもが安全に、安心して利用できる交通結節点の整備

- ②～⑥ 駅正面に歩行者空間を整備（玄関口としてのおもてなし・憩いの空間）
- ⑤ タクシー・一般車の乗降場が変わるのであれば、住民の意見を聞くことが必要
- ⑨ 駅北・駅南広場の機能分担の明確化
- ⑩ 一般車の駐車は地下駐車場のみとすれば、地上部が混雑しなくてよい
- ⑭ 0番乗り場とだんだん広場の動線の検討

**【課題】**

- ・交通ロータリーへの進入路変更をする場合、新たな渋滞等の発生による利便性低下を招かないよう、実態調査や関係機関との協議が必要。
- ・0番乗り場とだんだん広場の動線の検討については、今後の具体的計画をもとにハード・ソフト両面から検討していくことが必要

**◎交流機能の強化（みんなが集まる米子駅）**  
 活動の場・交流の場として利用しやすい広場機能の強化

- ⑳ 文化ホール前広場の再整備、だんだん広場の機能の分担
- ㉓ コンベンション施設、商業施設等との連携強化、イベントとの連動  
米子駅から文化ホール等へのシェルター整備（エリアの一体化、移動の円滑化）
- ㉔ Park-PFIの活用
- ㉕ 公園の使用にあたっては、可能な限り簡素な手続き

**【課題】**

- ・文化ホール前広場は、文化施設として整備された広場であり、賑わいの創出に向けた利活用をするための制度整備等が必要

**◎滞留機能の強化（賑わう米子駅）**  
 集まった人が気軽に、楽しく過ごせる空間の創出

- ⑮ ゲゲゲの鬼太郎を0番ホームの観光アイテムとして使えば面白い
- ⑯ 郵便局側のエリアも活用し、人のたまりを作ることも必要
- ⑰⑱ カフェ、Wi-Fiスポットなどによる来訪者の滞留機能強化（待合や2次交通との時間調整等での滞在）
- ㉒ 新幹線整備など米子駅の変化に対応できるよう、解体が容易な木造（県産材など利用）による築造
- ㉑ 商業施設利用の為には、一般車駐車場が必要
- ㉒ 医大との連携、米子駅-医大間のデマンドバス
- ㉓ 鉄道のまちを生かした施設（マニア向け、子供向け）
- ㉔ JR指令ビルや交番用地（）を含めた整備の検討

**【課題】**

- ・だんだん広場は鳥取県が所有する都市公園であり、今後の活用にあたり、都市公園の取扱いなど、鳥取県との協議・調整が必要
- ・JR指令ビルには、現在稼働中の機器があるため、機器の耐用年数など、JR西日本との協議、調整が必要